中学美術 1

令和6年度シラバス

新潟市立高志中等教育学校

	学 科	普通科				
I	教科名	美術単	位数 1.5単位	学年	1 学年	
	使用教科書	『美術1』 日本文教出版				
	副教材等	『美術資料』秀学社、『レタリ 授業振り返りノート、スケッラ		学習プリント、	、ファイル(ポートフォリオ)、	

1 学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や 美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 指導の重点

- ・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関 わる資質・能力を次のとおり育成することを目指すよう指導する。
- ・作品課題提出締め切りを必ず守るよう指導する。
- ・作品制作の時間配分を考えて、主体的に学び、自らの表現を大切にするよう指導する。
- ・作品課題制作を最後までやり遂げ、完成させるよう指導する。

3 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c	
評価の観点	・絵画、デザイン、彫刻、工芸制作において必要な知識・技能を身につけ、作品に応用することができる。	・絵画、デザイン、彫刻、 エ芸制作に・判断し、自 イリ は は は は は は は は は	・が異な組次面とは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、	
評価方法	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題 提出(締め切り評価)、ファイ ル提出、鑑賞レポート提出、 授業振り返りノート提出、美術 テスト(期末考査2回) などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題 提出(締め切り評価)、ファイル提出、鑑賞レポート提出、 授業振り返りノート提出、美術テスト(期末考査2回) などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題 提出(締め切り評価)、ファイル提出、鑑賞レポート提出、 授業振り返りノート提出、美術テスト(期末考査2回) などから、評価します。	

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動 (指導内容)	評価の観点	評価方法
4	絵鑑賞	4	模写、デッサン、 遠近法 賞 会 会 会 会 会 会 会 会 会 と 会 と 会 の 実 と の 実 と の を り 、 と の り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り	・3次に会のでは、では、大きな、では、大きな、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	a, b, c	・授業参加、 ・授業態度、
5	絵画 鑑賞	6	きから本制作までの工程、イメージマップを使用したイメージの広げ方、テーマ設定絵画	・絵画表現におけるテーを見つ け方と理解する。水張りみようと 理解する。とやってをのなる。 理解する。といるでは 理解する。といるでは を理解するがしたものを を自分をでする。 を見がないである。 を表生はのいる。 を表生をしまりました。 を表生をしまりまる。 を表生をしまりまる。 を表すしと、 であるととなる。 を表するとと、 であるよう のようととし、 であるよう のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のよりに、 のようととの。 のようとの。 のようとの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようとの。 のようととの。 のようととの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のよりとの。 のよりとの。 のようとの。 のよりとの。 のよりとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のよりとの。 のまりとの。 のを、 のを、 のを、 のを、 のを、 のを、 のを、 のを、	a, b, c	・作品課題提出 (締め切り評価)、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業版り返りノート提出、 ・美術テスト (期末考査2回)
6	絵画、	5		にする。 ・イメージを膨らませながら、、下イメージを膨らませながら、のとからないであるとをはける工夫をすることを理解する。・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って、見通しを多様な主体的に関わり、見など。もましたり振り返ったりまるとなったの表現・鑑賞を探究しようとゆる。*タブレットを使用し、一ジの参考にする。	a, b, c	
7	絵画、	4	モダンテクニッ ク 表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、、 にオージを膨らませながらなりませながらなりませながらない。 を出げる工夫をする。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主振りに関わり、見通しをもいたりに関わりである。 ・主振り返ったがでしまする。 ・たり振りを使用し、画のを表現・ が表現・ を使用し、一ジの参考にする。	a, b, c	

	6A ===	1	1	ノン バキ性とよりも ア	T	
8	絵画、	3	モダンテクニッ ク 表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、、下イメージを膨らませながらの。 絵から本制作への課程で自ことを 理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをきないに関わり、見通しを芸術な表現が変ったりするなど。まずなの表現・鑑賞を探究しようと像の表すである。 *タブレットを使用し、画の参考にする。	a, b, c	
9	絵画 、 鑑賞	5	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作 美術展覧会出品	・イメージを膨らませながらいた。、「イメージを膨らませながらいた。」と本制作への課程ですることを理解する。 ・自分のイメージしたものを。 ・自分のイメージした現通しを表現技法を使って、見なする。 ・主振り返賞を探究しよ。するとと像があまずに対対では、一ジとはのである。 ・本がでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	a, b, c	
10	デ彫工鑑	6	レタリング、 シンボイン 彫刻 鑑賞	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	a, b, c	・授業参加、 ・授業参加、 ・授業態度、 ・作ののでは、 ・作ののでは、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・
11	デザイ 彫刻 工芸	6	シンボルマーク デザイン 彫刻技法	・デザインとは何かを考え、理解する。立体作品における材料の扱いについて理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a, b, c	
12	彫刻工芸	5	動きのある人体 (彫塑)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。・主体的に関わり、見通しをも芸の表現・鑑賞を探究しようとする。	a, b, c	

1	彫刻工芸	5	動きのある人体 (彫塑)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a 、	b .	С	
2	彫刻 工芸	5	動きのある人体 (彫塑)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。		b ,	С	 ・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出 (締め切り評価)、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・授業所テスト (期末考査2回)
3	彫刻 工芸 鑑賞	4	動きのある人体 (彫塑)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	а,	b ,	С	

計35時間(55分授業)+音楽・美術35時間(55分授業)

5 課題・提出物

- •授業参加
- •授業態度
- ・作品課題提出 (締め切り評価)
- ・ファイル提出
- ・鑑賞レポート提出
- ・授業振り返りノート提出
- ・美術テスト (期末考査2回)

6 担当者からの一言

小学校の図画・工作、中学校の美術、高等学校の芸術(美術)と学校教育において教科および科目の名称に変化がある。その名称の違いおよび本質について学校教育の中で生徒自らが特性を感じながら「美術とは何か」を感じてもらうことが何より大切である。美術の幅広い創造活を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることを目標としながらも芸術の表現・鑑賞を楽しみながら芸術の学びを実感してもらいたい。

中学美術2

令和6年度シラバス

新潟市立高志中等教育学校

学 科	普通科	
教科名	美術 単位数 1単位 学年	2 学年
使用教科書	『美術2・3上』『美術2・3下』 日本文教出版	
副教材等	『美術資料』秀学社、『レタリング字典』秀学社、学習プリント、 授業振り返りノート、スケッチブック	ファイル(ポートフォリオ)、

1 学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して,造形的な見方・考え方を働かせ,生活や社会の中の美術や 美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 指導の重点

- ・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関 わる資質・能力を次のとおり育成することを目指すよう指導する。
- ・作品課題提出締め切りを必ず守るよう指導する。
- ・作品制作の時間配分を考えて、主体的に学び、自らの表現を大切にするよう指導する。
- ・作品課題制作を最後までやり遂げ、完成させるよう指導する。

3 評価規準と評価方法

壶	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	S 21 22 : Standard
≢ \ T ;		心与一种的一致死	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・絵画、デザイン、彫刻、工芸制作において必要な知識・技能を身につけ、作品に応用することができる。	・絵画、デザイン、彫刻、 エ芸制作に判断し、自インでし、りまきを膨らままままでは、りままままではいいできる。	・美術を習活動りを計している。 美術を習活動りを計している。 を選話を選話を選話を選話を選話を選びまたでは、 を選ばないのでは、 はないのでは、 はないのできる。
法	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題 提出(締め切り評価)、ファイ ル提出、鑑賞レポート提出、 授業振り返りノート提出、美術 テスト(期末考査2回) などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題 提出(締め切り評価)、ファイ ル提出、鑑賞レポート提出、 授業振り返りノート提出、美術 テスト(期末考査2回) などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 授業参加、授業態度、作品課題 提出(締め切り評価)、ファイ ル提出、鑑賞レポート提出、 授業振り返りノート提出、美術 テスト(期末考査2回) などから、評価します。

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動 (指導内容)	評価の観点	評価方法
4	絵鑑賞	2	模写、デッサン、 遠近法 賞 会品 賞 法の実 際)	・3次に会のでは、 ・3次にを、 ・3では、 ・4ののは、 ・4ののは、 ・4ののは、 ・5ののは、 ・6ののは、	a, b, c	・授業参加、 ・授業態度、
5	絵画 鑑賞	4	きから本制作までの工程、イメージマップを使用したイメージの広げ方、テーマ設定絵画	・絵画表現におけるテーマート けった表現におけるデーを見つ を選解する。水張りみな法を理解する。といるでは、 理解する。といるでは、 理解するが、 を理解するが、 を理解するが、 を関係し、 を表現し、 を表現が、 を表し、 を表現が、 を表現が、 を表現が、 を表現が、 を表現が、 を表する。 を表現が、 を表する。 をまずる。 を表する。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	a, b, c	・作品課題提出 (締め切り評価)、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業版り返りノート提出、 ・美術テスト (期末考査2回)
6	絵画、	4		にする。 ・イメージを膨らませながら、下イ 絵から本制作への課程で自ことを メージを広げる工夫をすることを 理解する。 ・自分のイメージしたものを多様 な表現技法を使って表現しる。 ・主体的に関わり、見など。もったり振り返ったりずると、もったの表現・鑑賞を探究しようと像 来タブレットを使用し、一ジの参考 で動画検索をし、イメージの参考 にする。	a, b, c	
7	絵画、		モダンテクニッ ク 表現技法 天クリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、、 にオージを膨らませながらのとを をから本制作への課程でする。 ・自分のイメージしたものを多様 ・自分のイメージしたものを多様 ・自分のイメージしたものを多様 な表現技法を使って表現する。 ・な表現技法を使って表現したものを を主振り返賞を探究しようとする。 ・たの表現・ に関ったが変質を使用し、 の表するようとする。 ・で表現・ に対いる。 に対いる。 に対いる。	a, b, c	

8	絵画、	1	モダンテクニッ ク 表現技法 アクリル技法 絵画制作	理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 *タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	, b, c	
9	絵重、鑑賞	4	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作 美術展覧会出品	理解する。 ・ものを多様 ・ものを多様 ・ものを多様 ・表現技法を使って、見通しをもったりまりに関わり、見通しを芸術 ・ち振り返ったりするが、芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 *タブレットを使用し、一ジの参 である。 *チボ展覧会に出品し、会場で他 の作品を鑑賞する機会を得る。	, b, c	
10	デ彫工鑑	4	レタリング、 リボイ技技 サボイ技技 ()	・レタリングの基本を理解する。 明朝体 ゴシック体の特徴を覚え	, b, c	 ・授業参加、 ・授業参加、 ・授業態度、 ・作締めでは、 ・運賞をはまれる。 ・経業、 ・授業、 ・技力・提出、 ・授業、 ・技力・提出、 ・技力・提出、 ・技力・ ・技力・ ・大力・ ・関末を ・関末を ・担い ・対力・ ・・・ ・・・ ・・ ・・・ ・・ ・・ ・・・ ・・ ・
11	デザイ 彫刻 工芸	4	シンボルマーク デザイン 彫刻技法 工芸技法	・デザインとは何かを考え、理解する。立体作品における材料の扱	, b, c	
12	彫刻工芸	2	自分のリアルな 手 (彫刻)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	, b, c	

1	彫刻 工芸	3	自分のリアルな 手(彫刻)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a 、	b 、 c	
2	彫刻 工芸	3	自分のリアルな 手(彫刻)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得る。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。		b 、 c	 ・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出 (締め切り評価)、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・授業所テスト (期末考査2回)
3	彫刻 工芸 鑑賞	1	自分のリアルな 手 (彫刻)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a 、	b, с	

計35時間(55分授業)

課題・提出物 5

- •授業参加
- 授業態度
- ・作品課題提出 (締め切り評価)
- ・ファイル提出

- ・鑑賞レポート提出
 ・授業振り返りノート提出
 ・美術テスト(期末考査2回)

担当者からの一言 6

小学校の図画・工作、中学校の美術、高等学校の芸術(美術)と学校教育において教科および科目の名称に変化があ る。その名称の違いおよび本質について学校教育の中で生徒自らが特性を感じながら「美術とは何か」を感じてもらう る。その名称の屋がおよび本真について子校教育の中で主徒自らが特性を感じなから「美術とは同か」を感じてもらり ことが何より大切である。美術の幅広い創造活を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を 愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化に ついての理解を深めることを目標としながらも芸術の表現・鑑賞を楽しみながら芸術の学びを実 感してもらいたい。

中学美術3

令和6年度シラバス

新潟市立高志中等教育学校

学 科	普通科		
教科名	美術 単位数 1 単位	学年	3 学年
使用教科書	『美術2・3上』『美術2・3下』 日本文教出版		
副教材等	『美術資料』秀学社、『レタリング字典』秀学社、学 授業振り返りノート	学習プリント、	ファイル(ポートフォリオ)、

1 学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して,造形的な見方・考え方を働かせ,生活や社会の中の美術や 美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 指導の重点

- ・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関 わる資質・能力を次のとおり育成することを目指すよう指導する。
- ・作品課題提出締め切りを必ず守るよう指導する。
- ・作品制作の時間配分を考えて、主体的に学び、自らの表現を大切にするよう指導する。
- ・作品課題制作を最後までやり遂げ、完成させるよう指導する。

3 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・絵画、デザイン、彫刻、工芸制作において必要な知識・技能を身につけ、作品に応用することができる。	・経画、デザイン、彫刻深、自な芸制作に・判断し、自、ないでし、よりに、いいのでは、い	・が経過に変形を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を
評	以上の観点を踏まえ、	以上の観点を踏まえ、	以上の観点を踏まえ、
価方法	授業参加、授業態度、作品課題 提出(締め切り評価)、ファイル提出、鑑賞レポート提出、 授業振り返りノート提出、美術 テスト(期末考査2回) などから、評価します。	授業参加、授業態度、作品課題 提出(締め切り評価)、ファイル提出、鑑賞レポート提出、 授業振り返りノート提出、美術 テスト(期末考査2回) などから、評価します。	授業参加、授業態度、作品課題 提出(締め切り評価)、ファイル提出、鑑賞レポート提出、 授業振り返りノート提出、美術テスト(期末考査2回) などから、評価します。

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動 (指導内容)	評価の観点	評価方法
4	絵鑑賞	2	模写、デッサン、 遠近品鑑賞 は 会 で 会 の 実 に の 実	・3次に会のでは、では、大きな、では、大きな、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	a, b, c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出
5	絵画 鑑賞	4	きから本制作までの工程、イメージマップを使用したイメージの広げ方、テーマ設定絵画	・絵画表現におけるテーを見つ け方と理解する。水張りみようと 理解する。とやってをのなる。 理解する。といるでは 理解する。といるでは を理解するがしたものを を自分をでする。 を見がないである。 を表生はのいる。 を表生をしまりました。 を表生をしまりまる。 を表生をしまりまる。 を表すしと、 であるととなる。 を表するとと、 であるよう のようととし、 であるよう のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のよりに、 のようととの。 のようとの。 のようとの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようととの。 のようとの。 のようととの。 のようととの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のよりとの。 のよりとの。 のようとの。 のよりとの。 のよりとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のようとの。 のよりとの。 のまりとの。 のを、 のを、 のを、 のを、 のを、 のを、 のを、 のを、	a, b, c	(締め切り評価)、 ・ファイル提出、 ・選賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提 出、 ・美術テスト (期末考査2回)
6	絵画、	4		にする。 ・イメージを膨らませながら、、下イメージを膨らませながら、のとからないであるとをはける工夫をすることを理解する。・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って、見通しを多様な主体的に関わり、見など。もましたり振り返ったりまるとなったの表現・鑑賞を探究しようとゆる。*タブレットを使用し、一ジの参考にする。	a, b, c	
7	絵画、	3	モダンテクニッ ク 表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、、 にオージを膨らませながらなりませながらなりませながらない。 を出げる工夫をする。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主振りに関わり、見通しをもいたりに関わりである。 ・主振り返ったがでしまする。 ・たり振りを使用し、画のを表現・ が表現・ を使用し、一ジの参考にする。	a, b, c	

	公正	1	1	ファーバチ 味と ナルみぶと ニエ				
8	絵画、	1	モダンテクニッ ク 表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、、下イメージを膨らませながらの。 絵からな広げる工夫をすること 理解する。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しを多様な表体的に関わりするなど。もましたりまるなど。するなど。する。 を表現・鑑賞を探究しようとする。 *タブレットを使用し、画像参数にする。	a 、	b,	С	
Ω	絵鑑賞	4	モダンテクニッ ク 表現技法 アクリル技法 絵画制作 美術展覧会出品	・イメシを膨らませながら、、イメージを膨らませながらいた。、のとをおいたの課程でする。とながながある。とも現技法を使って、表現がというである。も芸ながに関わり、するなが、もは、の表現がでは、からのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	a 、	b ,	С	
10	デ彫工鑑	4	レタリング、 シンザメンジ リボイ技技 技 選 賞	ア・明フト・明フト・明フト・明フト・明フト・明フト・明フト・明フト・明フト・明フト	a 、	b,	c	 ・授業参加、 ・授業態度、 ・作ののでは、 ・では、 ・では、 ・受業がある。 ・・受業がある。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
11	デザイ 彫刻 工芸	4	シンボルマーク デザイン 彫刻技法 工芸技法	・デザインとは何かを考え、理解する。立体作品における材料の扱いについて理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a 、	b,	С	
12	彫刻工芸	2	木彫飾り箱 (工芸)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。・主体的に関わり、見通しをも芸の表現・鑑賞を探究しようとする。	a 、	b,	С	

1	彫刻工芸	3	木彫飾り箱 (工芸)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a, b, c	
2	彫刻 工芸	3	木彫飾り箱 (工芸)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得る。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	1	 ・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出 (締め切り評価)、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト (期末考査2回)
3	彫刻 工芸 鑑賞	1	木彫飾り箱 (工芸)	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a, b, c	

計35時間(55分授業)

課題・提出物 5

- •授業参加
- 授業態度
- ・作品課題提出 (締め切り評価)
- ・ファイル提出
- ・鑑賞レポート提出 ・授業振り返りノート提出
- ・美術テスト (期末考査2回)

担当者からの一言 6

小学校の図画・工作、中学校の美術、高等学校の芸術(美術)と学校教育において教科および科目の名称に変化があ る。その名称の違いおよび本質について学校教育の中で生徒自らが特性を感じながら「美術とは何か」を感じてもらう る。その名称の屋がおよび本真について子校教育の中で主徒自らが特性を感じなから「美術とは同か」を感じてもらり ことが何より大切である。美術の幅広い創造活を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を 愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化に ついての理解を深めることを目標としながらも芸術の表現・鑑賞を楽しみながら芸術の学びを実 感してもらいたい。

(芸術:美術 I)

令和6年度シラバス

新潟市立高志中等教育学校

学 科	普通科		
教科名	芸術(美術 I) 単位数 2 単位	学年	4 学年
使用教科書	『高校生の美術1』 日本文教出版		
副教材等	『美術資料』秀学社、『レタリング字典』秀 オリオ)、授業振り返りノート、スケッチブ	 学社、学習プ ック	リント、ファイル(ポートフ

1 学習目標

・美術の幅広い創造活動を通して,美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を 高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ・美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てると ともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めるよう指導する。
- ・作品課題提出締め切りを必ず守るよう指導する。
- ・作品制作の時間配分を考えて、主体的に学び、自らの表現を大切にするよう指導する。
- ・作品課題制作を最後までやり遂げ、完成させるよう指導する。

3 評価規準と評価方法

	时间况平C时间 力丛							
	評価は次の観点から行います。							
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c					
評価の観点	・絵画、デザイン、彫刻、工芸制作において必要な知識・技能を身につけ、作品に応用することができる。	・絵画、デザイン、彫刻、 ま芸制作に・判断し、自 イン しい はい	・美術を習活動りを出入りを習活動り返りを習活動りを計している。 一美術を習活動りを引いる。 一美術を習活動りを引いる。 「大きなりをできる。」 「大きなりをいる。」 「大きなりをいる。」 「大きなりをいる。」 「大きなりをいる。」 「大きなりをいる。」 「大きなりない。」 「ないる」 「ないるいる」 「ないるいる。「ないるいる」 「ないるいる」 「ないるいるいる。「ないるいるいるいるいる。「ないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる					
評	以上の観点を踏まえ、	以上の観点を踏まえ、	以上の観点を踏まえ、					
価方法	授業参加、授業態度、作品課題 提出(締め切り評価)、ファイル提出、鑑賞レポート提出、 授業振り返りノート提出、美術 テスト(期末考査2回) などから、評価します。	授業参加、授業態度、作品課題 提出(締め切り評価)、ファイル提出、鑑賞レポート提出、 授業振り返りノート提出、美術 テスト(期末考査2回) などから、評価します。	授業参加、授業態度、作品課題 提出(締め切り評価)、ファイ ル提出、鑑賞レポート提出、 授業振り返りノート提出、美術 テスト(期末考査2回) などから、評価します。					

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動 (指導内容)	評価の観点	評価方法
---	-----	------	-----	----------------	-------	------

4	絵映デ表鑑 が、 メア	6	模写、デッサン、 遠近法 作品鑑賞 (対話的 鑑賞法の実際)	・3次元(立体)を2次元(平面)に置き換える知識・技能を理解する。模写とデッサンの種類、、遠近法の種類する。 発明された時代背景を理解成立、発明された時代背景を理解する。 ・立表のようの表現技法を修得したの表現する。 ・自したりに関わり、見通しをも芸を修・主振り返賞を探究しようと像が変現・鑑賞を探究しようと像がある。 * タットを使用し、一ジの参考にする。	a, b, c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出 (締め切り評価)、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提 出、 ・美術テスト (期末考査2回)
	絵画、 映像メデ ィア表現	8	工程、イメージマ	な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。 *タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a, b, c	
	絵画、 映像メデ ィア表現	6	自由テーマ設定絵画	・イメージを膨らませながら、下イメージを膨らませながらののは発生であることを出いる。・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。・主振り返れたりましたものを表現がに関わり、見通しを芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。・メタブレットを使用し、画の参考にする。	a, b, c	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出
	絵画、 映像メデ ィア表現	5	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながらの、下イメージを膨らませながらののは発生であることを地方のである。 ・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。 ・主体的に関わり、見通しを芸術な表は、当版の表現・鑑賞を探究しようとする。 *タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a, b, c	(締め切り評価)、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト (期末考査2回)
	絵画、 映像メデ ィア表現	1	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作	・イメージを膨らませながら、下 絵から本制作への課程で自ことを メージを広げる工夫をすることを 理解する。・自分のイメージしたものを多様な表現技法を使って表現する。・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。*タブレットを使用し、画像および動画検索をし、イメージの参考にする。	a, b, c	

	絵画、 映像メデ ィア表現 鑑賞	6	モダンテクニック 表現技法 アクリル技法 絵画制作 美術展覧会出品	・イメージを膨らませながらのとを 絵かいまを広げる工夫をすることを メージを広げる工夫をすることを 理解分のイメージしたもする。 ・お表現技法を使って、見なと。 な主ないに関わたりする。も芸現 な主振的に関わたりすると。 を表現がとし、するようとと の表現でというととの表現が の表現がというととの。 な表現がというという。 ながある。 ははいる。 はないのででである。 はないのでででです。 はないででででする。 というの作品を鑑賞する機会を得る。	a 、	b ,	С	
10	デザイン 彫刻 芸賞	8	レタリング、 シンボルマークデ ザイン 彫刻技法 木彫技法 鑑賞	・レタリングの基本を理解する。 明朝体、ゴシック体の特徴を覚え、 フリーハンドでレタリングが何か るようにする。デザインとは何か を考え、理解する。立体作品における材料の扱いについて理解する。 ・立体作品におけるイメージ、 イディアの発想の技法を修 る。 ・主体的に関わり、見通しをも芸んの表現・鑑賞を探究しようとする。	a 、	b ,	С	
11	デザイン 彫刻 工芸	8	シンボルマークデ ザイン 彫刻技法 木彫技法	・デザインとは何かを考え、理解する。立体作品における材料の扱いについて理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a ,	b ,	С	
12	彫刻工芸	6	首振り人形(彫塑) 木彫スプーン 木彫手鏡 沖縄紅型染めバッ ク	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得る。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a 、	b ,	С	・授業参加、 ・授業態度、 ・作品課題提出
1	彫刻 工芸	6	首振り人形(彫塑) 木彫スプーン 木彫手鏡 沖縄紅型染めバッ ク	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。・主体的に関わり、見通しをも芸の表現・鑑賞を探究しようとする。	a ,	b 、	С	(締め切り評価)、 ・ファイル提出、 ・鑑賞レポート提出、 ・授業振り返りノート提出、 ・美術テスト (期末考査2回)
2	彫刻 工芸	6	首振り人形(彫塑) 木彫スプーン 木彫手鏡 沖縄紅型染めバック	・彫刻・工芸とは何かを考え、理解する。立体作品における材料の特性、扱いおよび制作技法について理解する。 ・立体作品におけるイメージ、アイディアの発想の技法を修得する。 ・主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど。芸術の表現・鑑賞を探究しようとする。	a ,	b ,	С	

下下	る材料の 法につい a 、 b 、 c ージ、ア を修得す しをもっ ど。芸術
----	---

計70時間 (55分授業)

5 課題・提出物

- •授業参加
- •授業態度
- ・作品課題提出 (締め切り評価)
- ・ファイル提出
- ・鑑賞レポート提出
- ・授業振り返りノート提出
- ・美術テスト(期末考査2回)

6 担当者からの一言

小学校の図画・工作、中学校の美術、高等学校の芸術(美術)と学校教育において教科および科目の名称に変化がある。その名称の違いおよび本質について学校教育の中で生徒自らが特性を感じながら「美術とは何か」を感じてもらうことが何より大切である。美術の幅広い創造活を通して,美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることを目標としながらも芸術の表現・鑑賞を楽しみながら芸術の学びを実感してもらいたい。